

経営比較分析表（平成28年度決算）

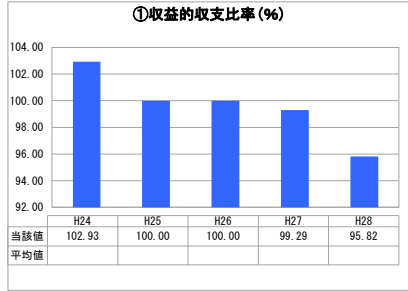
佐賀県 武雄市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	69.51	100.00	4,104

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
49,674	195.40	254.22
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
34,362	187.53	183.23

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



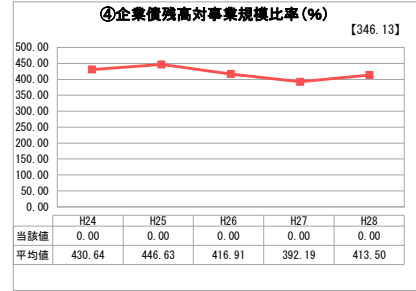
「単年度の収支」



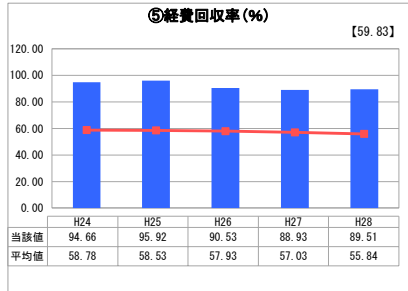
「累積欠損」



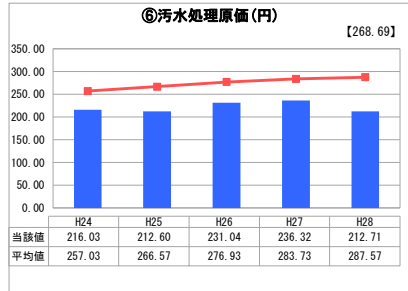
「支払能力」



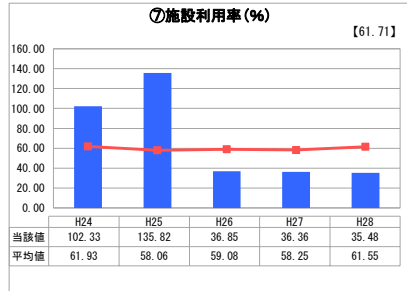
「債務残高」



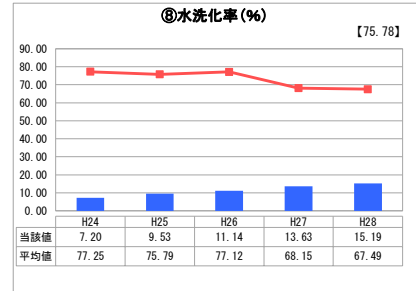
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

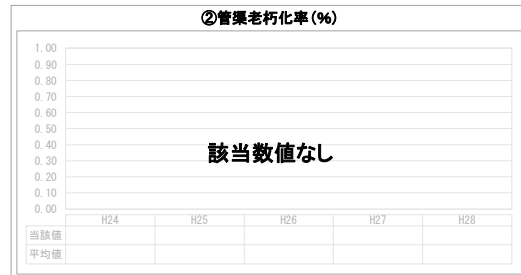


「使用料対象の捕捉」

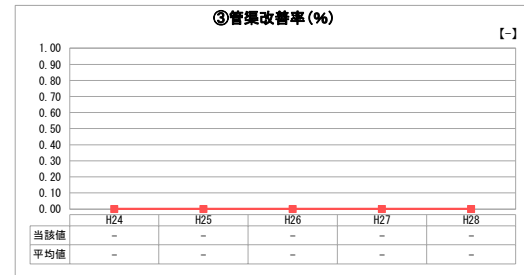
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

戸別浄化槽については現在整備推進中であり、企業債利息の支払いが年々増加していく状況下にあるため、収益的収支比率は95.82%と平成27年度と比較して減少している。

経費回収率は平成27年度並みと特に変化はなく、類似団体平均値と比較しても高い位置で推移しており、現在のところ適切な料金設定であると言える。

武雄市では、現在戸別浄化槽の普及促進中であり、施設利用率は依然類似団体平均値と比較して低く出てしまうが、水洗化率は確実に伸びてきており、今後も引き続き適正人槽の設置に取り組んでいく。

2. 老朽化の状況について

当市の特定地域生活排水事業は平成21年度から開始しており、浄化槽本体の耐用年数は約30年であることから、平成28年度現在では老朽化には至っていない。

ただし、プロア等の付属設備については事業開始から8年を経過し、故障等の発生が発生し始めており、順次修繕等の対応が必要な状況である。

全体総括

当市では、平成28年度末で1648基の戸別浄化槽の維持管理を行っている。

経費回収率は約89.51%と類似団体平均値と比較し高い水準ではあるが、今後も100%に近づけるよう経営努力を行っていく必要がある。

また、水洗化率を高めるために普及促進にさらに力を入れるとともに、コスト削減のため、維持管理費の見直しを進めていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。